

次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を実現する有識者会議

## 世界を舞台に活躍する人材の育成と、 『楽しい』『喜び』に満ちた社会の創造

日本財団パラリンピックサポートセンター  
マセソン美季

---

# 「楽しい」「喜び」に満ちた社会の創造 に必要なこと

「セルフエスティーム（自己肯定感）」を  
高めること

- ・ありのままの自分を受け入れる
- ・他人と協調できる
- ・様々な困難を乗り越えることができる

## 国の動向：

平成28年7月、スポーツ庁「オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議において、「オリンピック・パラリンピック教育に向けて（最終報告）」

オリンピック、パラリンピックを題材にして

- ①スポーツの意義や価値などに対する国民の理解・関心の向上
- ②障害者を含めた多くの国民の、幼少期から高齢期までの障害を通じたスポーツへの主体的な参画（「する」「見る」「支える」「調べる」「創る」）の定着、拡大
- ③児童生徒をはじめとした若者に対する、これからの社会に求められる資質・能力などの育成

また、平成28年12月、中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領などの改善及び必要な方策などについて」

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を、スポーツへの関心を高めることはもちろん、多様な国や地域の文化の理解を通じて、多様性の尊重や国際平和に関与する態度や、多様な人々が共に生きる社会の実現に不可欠な他者への共感や思いやりを子どもたちに培っていくことの契機ともしていかなくてはならない

**パラリンピック競技大会は、  
「社会変革」  
を起こすための役割も担っている。**

Impossible (不可能)

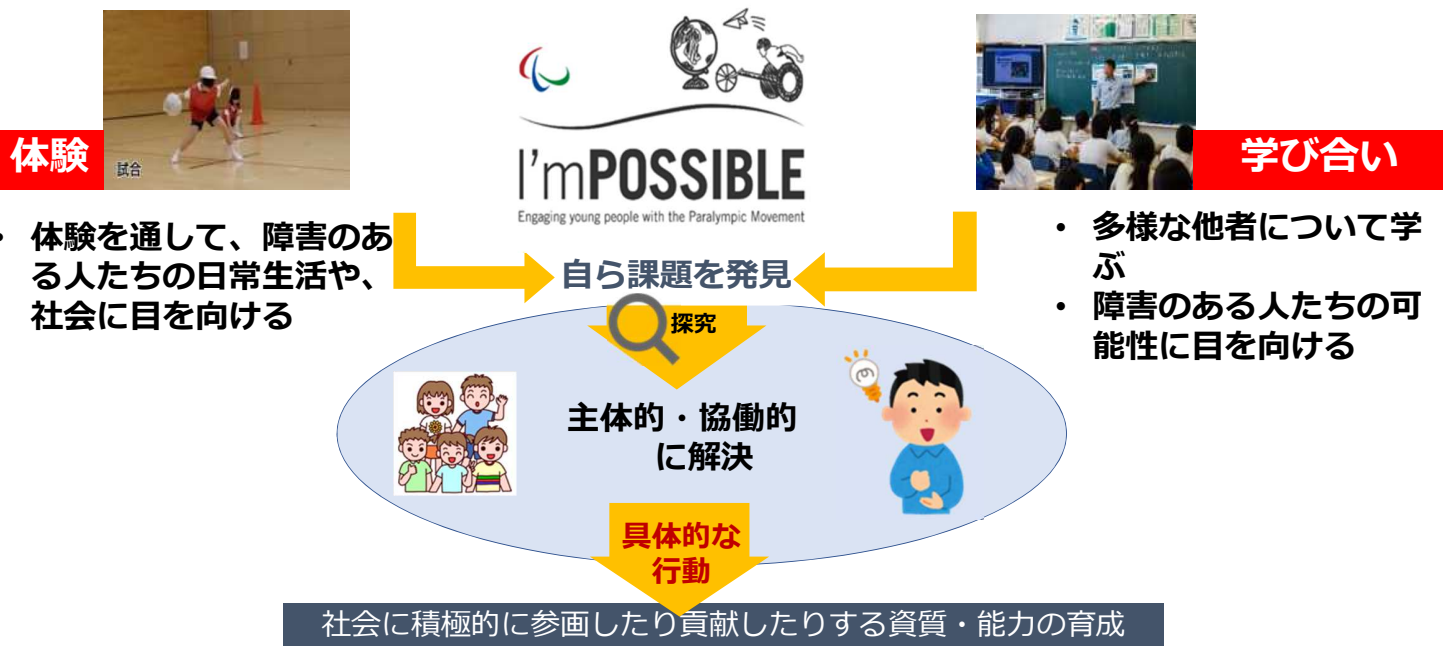


I'm possible  
(私には、できる！)



不可能だと思えたことも、**見方や考え方を**変えたり工夫したりすれば、**できるようになる。**

## I'mPOSSIBLEを利用した授業に期待できる効果



# パラリンピック教育で実現できる 児童生徒の姿

- 友達にも自分にも、障害のある人にもない人にも個性や良さがあることに気づく。
- 相手の心を押し量りながら、過不足なく適切な心配りをする。
- 誰に対しても分け隔てなく接する・誰もが安心して暮らせる社会について考える
- 自分の特徴を知って、良いところを伸ばす。
- 目標や希望を持ち、たゆみない努力を続けることの大切さに気づく
- 主体的に「ひと」「もの」「こと」とのかかわりを深めながら、「自分事」の学びをくり返す

## 目指す姿

千葉県教育	パラリンピック教育
<ul style="list-style-type: none"><li>• 志を持ち、未来を切り拓く子どもを育てる</li><li>• 「誇り」と「安心」を育む学校をつくる</li><li>• 絆を深めて、全ての人が活躍できる環境を整える</li><li>• 世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自己を肯定し、自ら目標を設定し、ベストを尽くす意欲と態度を備える</li><li>• スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を育む</li><li>• 多様性を尊重し、共生社会の創造や国際社会の平和と発展に貢献できる人材を育てる</li><li>• 日本人としての自覚と誇りを持ち、自らまなび行動できる国際感覚を備える</li></ul>



差別や偏見は「**教育**」がもたらす

「**教育で差別や偏見を  
軽減できるはず!**」

# 千葉県の教育力に期待すること

- ・可能性に目を向ける
  - ・自信を持たせる
  - ・他者を理解し、「インクルーシブ」な考え方を身に付ける
  - ・世界に視野を広げる
- 

ご静聴ありがとうございました。